



●組立てされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



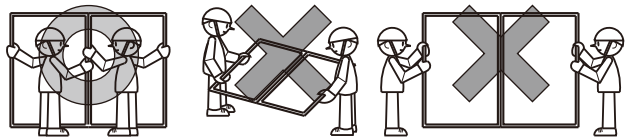
- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・シール材を欠損させたまま組立てたり、浮きやズレがないようにしてください。
- ・サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。
- ・ねじ止めは、連窓方立の溝と装飾枠の溝を一致させてください。
- ・かん合にズレやすき間がないようにしてください。
- ・方立上部防水テープは必ず圧着してください。

組立て上のお願ひ

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「リプラス アタッチ枠 取付け説明書」を参照してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

組立て後の取扱いとお願ひ

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	連窓方立に張付けてあるシール材をはがしていないか	☐
2	シール材を欠損させたまま組立てしていないか	☐
3	新設サッシ枠と連窓方立のかん合にズレやすき間はないか	☐
4	方立上部防水テープは圧着されているか	☐

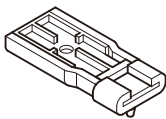
■連窓方立の種類

サーモス用装飾窓用連窓方立	TW用装飾窓用連窓方立

■部品一覧

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨
姿図			
	なべドリルねじ φ4×8	なべドリルねじ φ4×13	皿タッピンねじ φ4×12
	枠取付けねじ (サーモス用)	枠取付けねじ (TW用)	アングル取付けねじ
	組立て用		

連窓方立組立部品セット	
方立上端キャップ	方立上端キャップ取付けねじ
	
	バインドタッピンねじ φ4×20
連窓用裏板	方立上部防水テープ
	

1-2 釘打ちフィンのカット

専用設定以外の新設サッシ枠の場合は、釘打ちフィンのカットをしてください。詳細は、「リプラス アタッチ枠 組立て説明書」を参照してください。専用設定の新設サッシ枠の場合は、次項へ進んでください。

2 連窓用裏板の取付け

【組立て例：装飾窓+装飾窓】

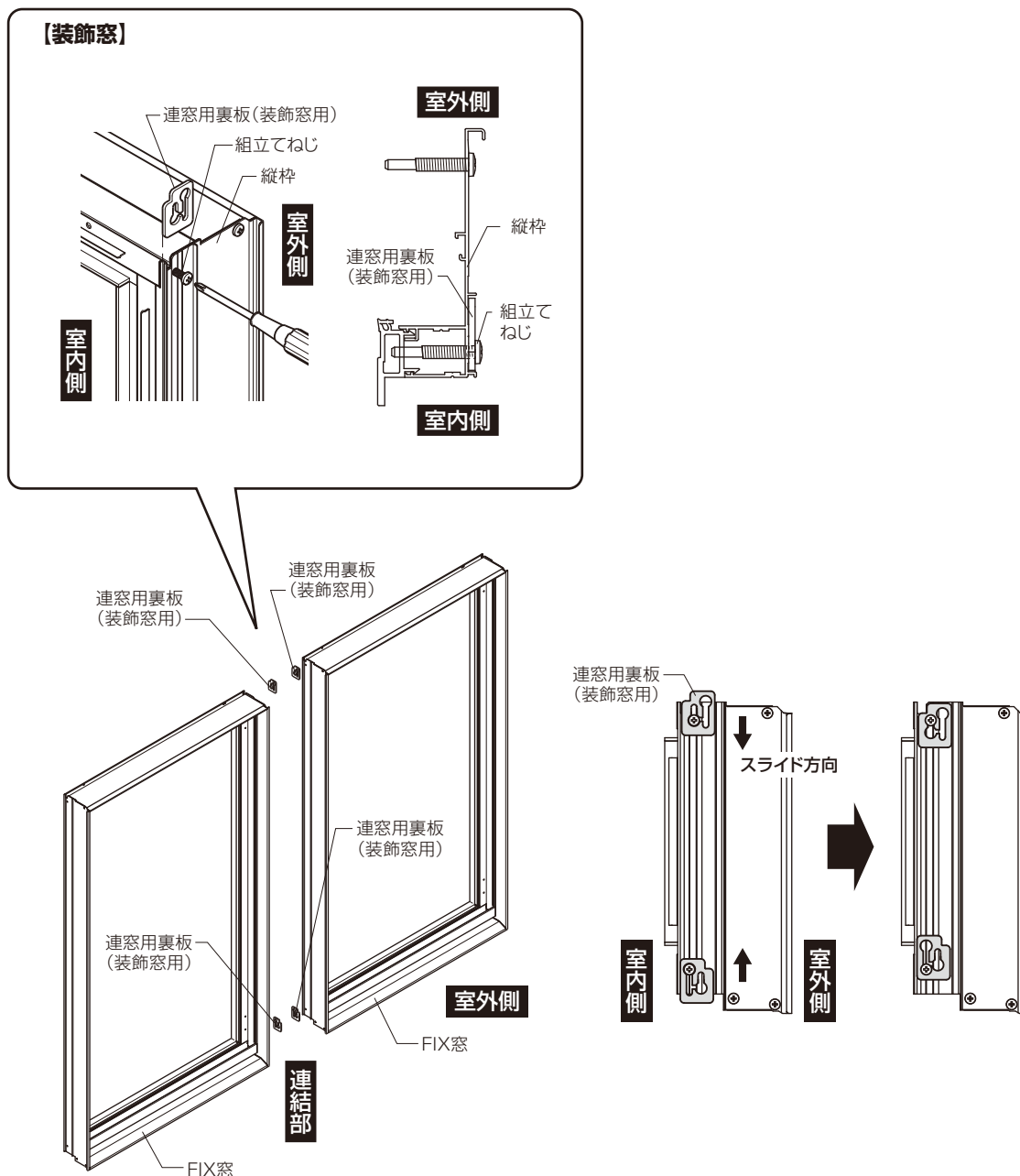
図は代表として、FIX窓+FIX窓になります。

●連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れ、枠を組立てます。

①連結側縦枠上下2カ所の室内側組立てねじをゆるめます。

②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。

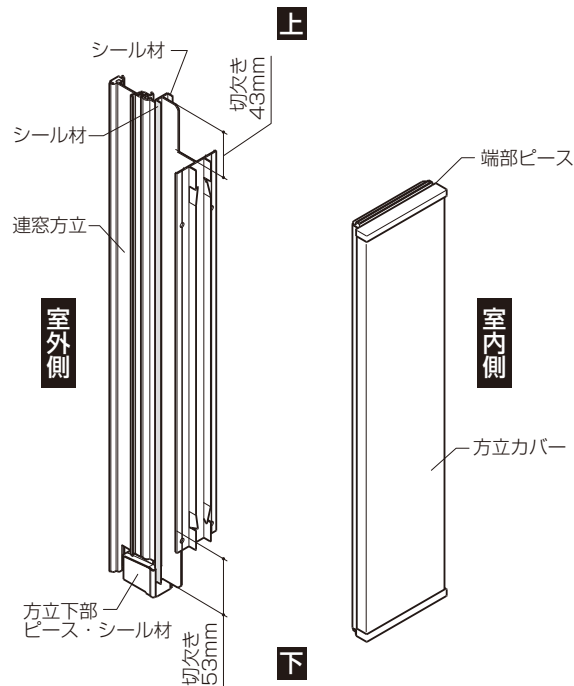
※裏板は上下共通です。



3 連窓方立との連結

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。(図1)
(方立カバーに上下はありません。)

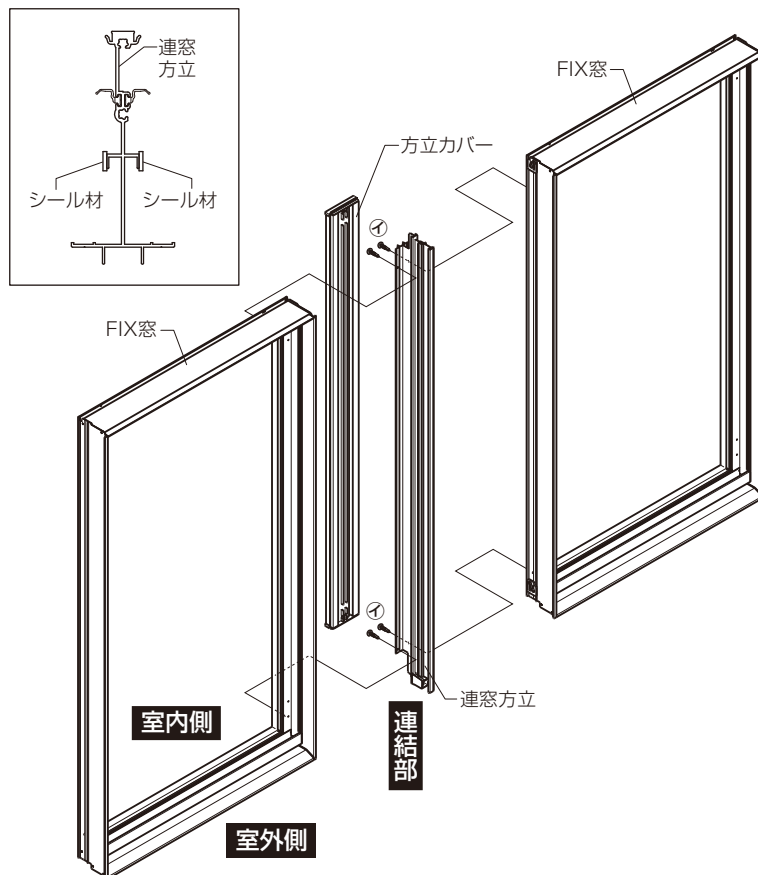
(図1)



図は代表として、FIX窓+FIX窓になります。

①連窓方立をFIX枠にはめ込みます。

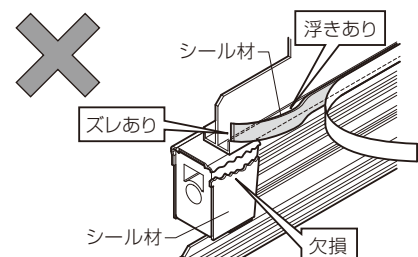
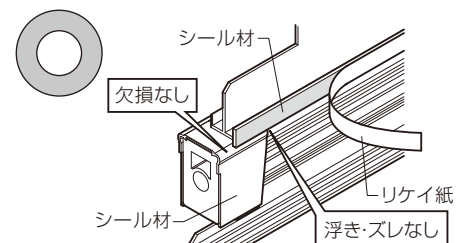
※連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。



▲ 注 意



●連窓方立に張付けてあるシール材は浮きやズレがないようにリケイ紙をゆっくりはがしてください。また、シール材を欠損させたまま組立てないでください。漏水の原因となります。その場合は、部品を交換してください。



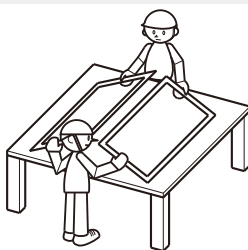
※部品を交換してください。

3 連窓方立との連結(つづき)

▲ 注 意



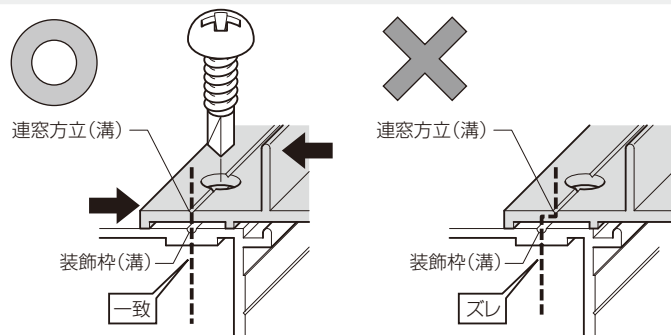
●サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。漏水の原因になります。



▲ 注 意



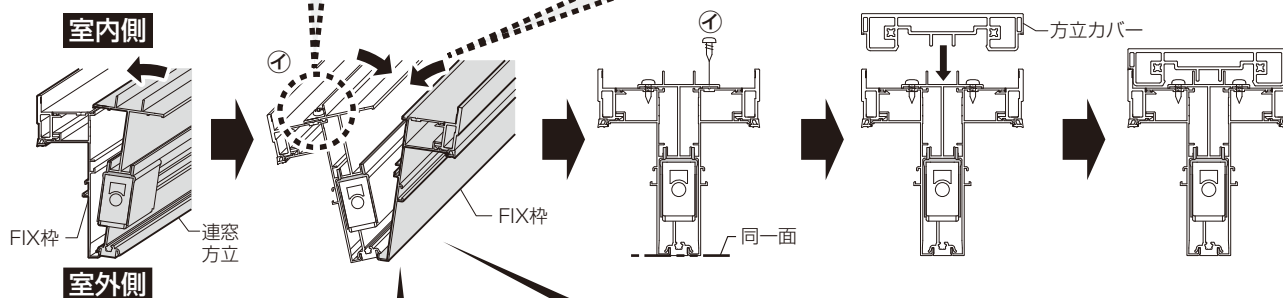
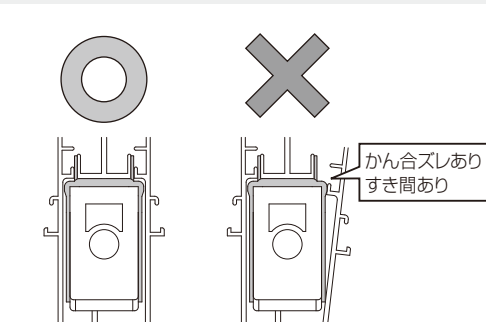
●ねじ止めは、連窓方立の溝と装飾枠の溝を一致させてください。漏水の原因になります。



▲ 注 意



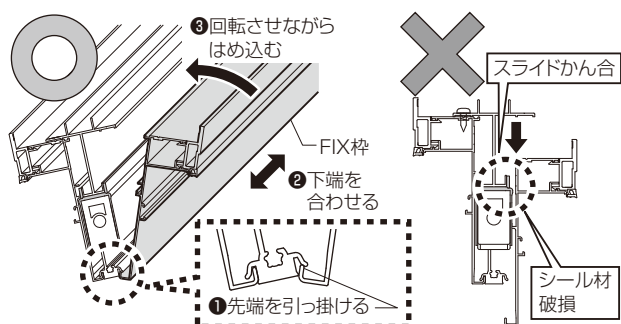
●かん合にズレやすき間がないようにしてください。漏水の原因になります。



▲ 注 意



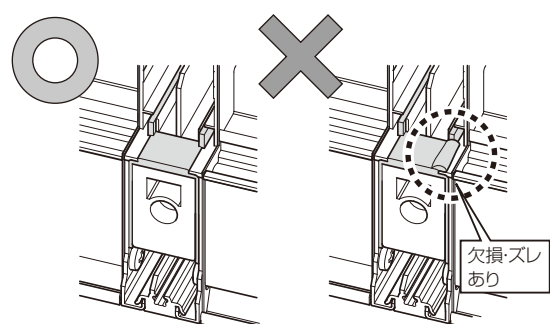
●方立と縦枠の連結は下記の手順で行ってください。漏水の原因になります。



▲ 注 意



●連結後シール材に欠損、ズレがないようにしてください。漏水の原因になります。

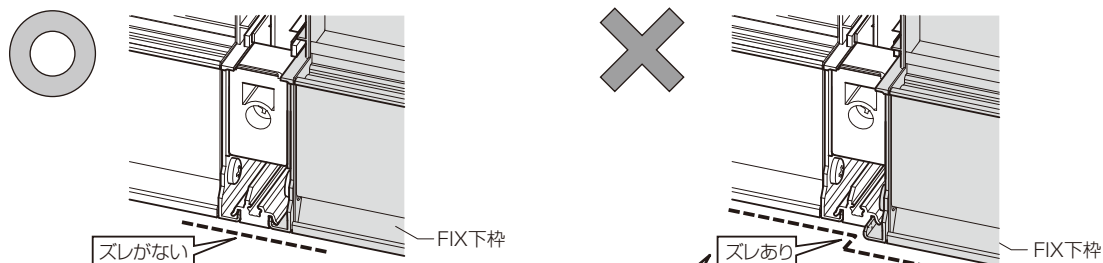


3 連窓方立との連結(つづき)

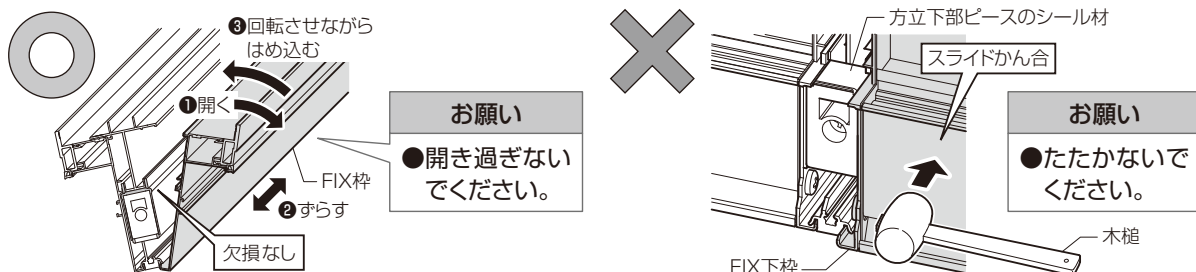
▲ 注 意



●下側を基準にかん合にズレがないようにしてください。漏水の原因となります。



●ズレがある場合は下図の手順に従って修正してください。方立下部ピースのシール材が切れ、漏水の原因になります。



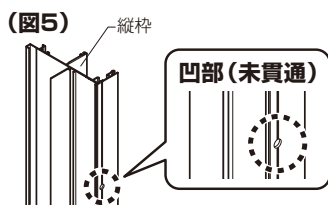
②FIX枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。(①のねじ)

※下端のみサッシ枠に下穴があいています。(サッシ枠に取付いているプッシュボタンは取外してください。)(図2)

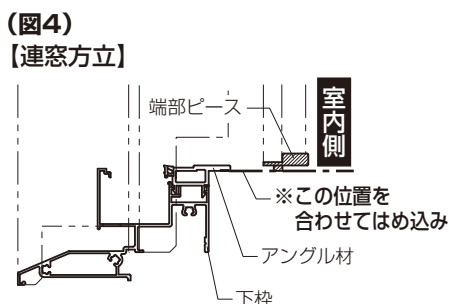
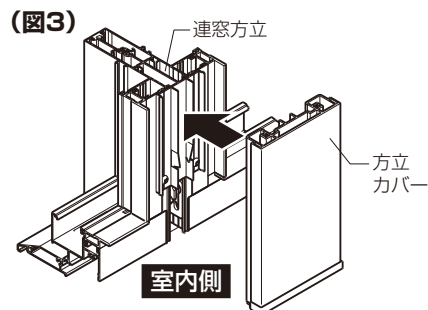
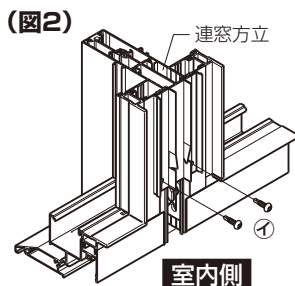
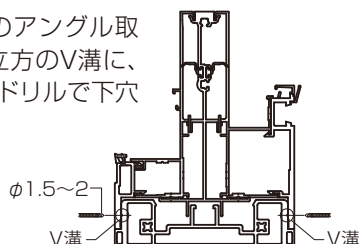
※サーモスA縦すべり出し窓・横すべり出し窓の場合は、凹部(未貫通)をFIX下端の穴位置を合わせてねじ止めしてください。(図5)

それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。

③方立カバーは、方立カバーに取付いている端部ピースとサッシアングルの位置を合わせはめ込みます。(図3,4)



④サッシ本体のアングル取付け穴から立方のV溝に、 $\phi 1.5 \sim 2$ のドリルで下穴を開けます。



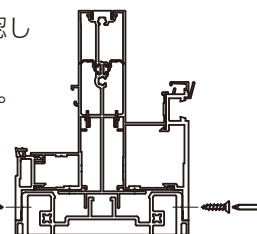
⑤アングル取付けねじを取付けます。

※方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。

※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。

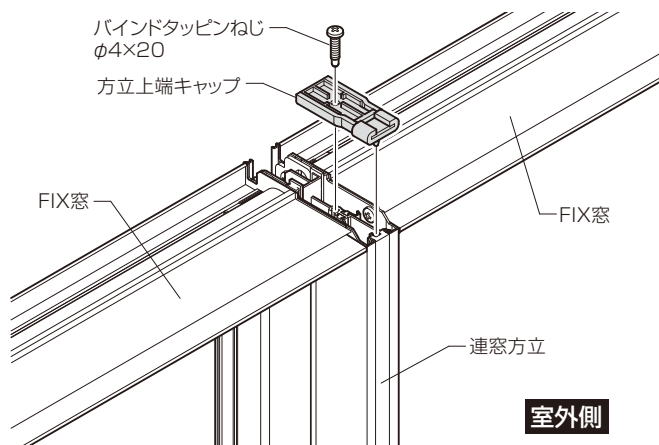
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。

◎皿タッピンねじ
 $\phi 4 \times 12$
ドライバー



4 方立上端キャップの取付け

- 連結部の上に方立上端キャップをねじ止めします。



5 方立上部防水テープの張付け

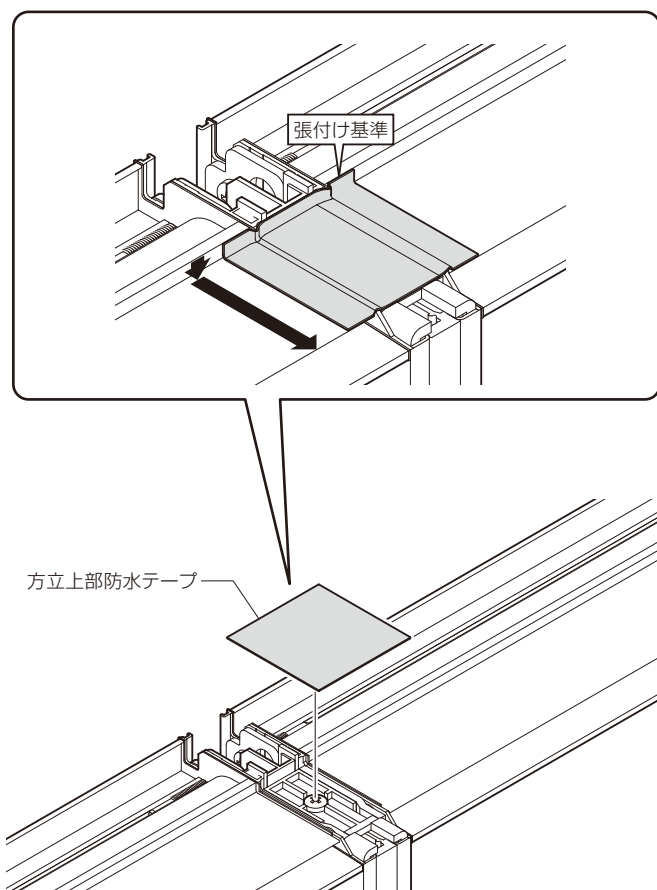
▲ 注意



- 方立上部防水テープは必ず圧着してください。漏水の原因になります。

- 方立上部防水テープを張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。

※ コーナー部は、必ず押えてすき間があかない様にしてください。

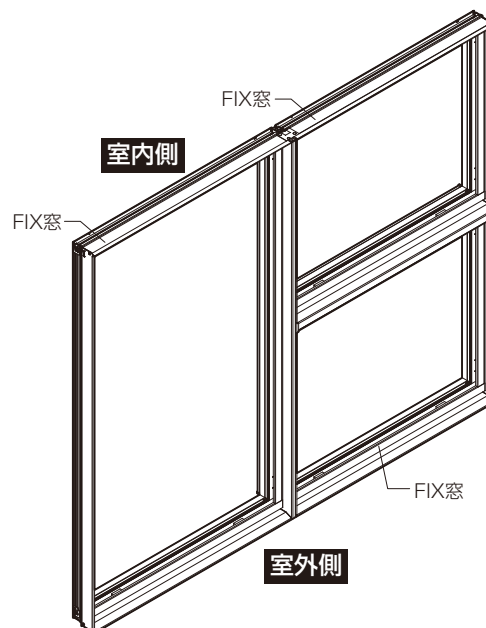


■ 連段窓の場合の組立て順序

【組立て例：装飾窓+装飾窓+装飾窓】

図は代表として、FIX窓+FIX窓+FIX窓になります。

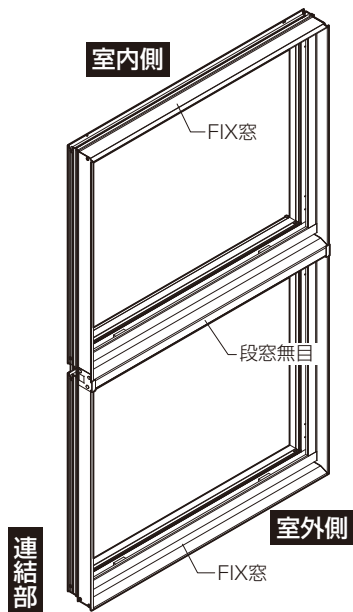
※ 障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後にに入れてください。



1 段窓部の組立て

※詳細は、「リプラス アタッチ枠 段窓無目 組立て説明書」を参照してください。

- ① 連結部上下(室内側)に連窓用裏板を入れて組立てます。
(P.3 2 連窓用裏板の取付け)参照



2 連段窓の組立て

- ① 組立て順序「P.4 3 連窓方立との連結」を参照してください。

※連窓方立の穴が、部の段窓サッシの縦枠(連結する相手部材)がない部分にきた場合、連窓方立の穴を上または下にずらして穴(φ4.2)をあけてください。

- ② 組立て順序「P.7 4 方立上端キャップの取付け」「P.7 5 方立上部防水テープの張付け」を参照してください。

